



プレスリリース

2020年3月9日

報道関係各位

アレクシオンファーマ合同会社

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する当社の取り組みについて

アレクシオンファーマ合同会社（本社：東京都渋谷区、社長：笠茂 公弘）は、新型コロナウイルス感染(COVID-19)拡大に伴う対応として、当社の医療情報担当者（MR）を含む外勤社員における医療機関への訪問を3月31日まで自粛することといたしました。

COVID-19に対する当社の対応は、感染拡大を防止し、社員およびその家族、患者さんならびに医療関係者などの皆さまの安全の確保を最優先とするという判断に基づき決定されました。

当社ではこれまでも、MR等の医療機関への訪問に関して、医療機関の意向を確認し、また医療機関の規制や要請に従い、訪問時はマスクを着用して活動するなど対応して参りましたが、感染拡大の状況を考慮して今回の対応といたしました。ただし、医療機関からの要請、副作用などの対応のため、必要に応じて例外的に医療機関等に訪問することがありますが、その場合には感染症対策を講じた上で実施いたします。

本社勤務を含めた全社の主な対応は以下の通りです。

- 発熱などの体調不良が認められる際は、会社へ報告の上、出社を控え、療養に専念する。
- 本社勤務の社員は在宅勤務を最大限活用する。
- 手洗い、うがい、咳エチケット、マスク着用を施行する。
- 国内外とも出張は原則禁止とし、やむを得ない出張のみ例外的に許可を得ることとする。
- 3月末までに予定されている会合などイベントの実施については以下のようにする。
 - ◇ 会社主催の講演会・研究会、製品説明会などについては、原則延期とする。
 - ◇ 学会などの団体との共催イベント（セミナーなど）については、当該団体の方針に従う。（ただし、イベント開催の準備が当該期間にかかる場合は、4月以降にも適用されることがある）

当社は、今後も各方面からの情報収集を行い、状況に合わせて適切な対応を迅速に行ってまいります。

以上

アレクシオンファーマ合同会社について

アレクシオンファーマ合同会社は、アレクシオン・ファーマシューティカルズ（米国マサチューセッツ州ボストン、以下アレクシオン）の日本法人です。アレクシオンは、生活を変えるような革新的な治療薬を発見、開発、販売することで、希少疾患の患者さんご家族に貢献することに注力するグローバルなバイオ製薬企業です。アレクシオンは、20年以上にわたる補体領域のリーダーとして、発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）と非典型溶血性尿毒症症候群（aHUS）の患者さんに対する治療薬として承認された2つの補体阻害薬、ならびに抗アセチルコリン受容体（AChR）抗体陽性の全身型重症筋無力症（gMG）と視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）の患者さんに対する治療薬として初めてかつ唯一承認された補体阻害薬を開発し、製造販売しています。アレクシオンはまた、低ホスファターゼ症（HPP）とライソゾーム酸性リパーゼ欠損症（LAL-D）といった生命を脅かす超希少疾患の患者さんに対する2つの非常に革新的な酵素補充療法を有しています。更に、アレクシオンは現在、ウィルソン病に対する銅結合剤、稀な免疫グロブリンG（IgG）介在性疾患に対する抗胎児性Fc受容体（FcRn）抗体、経口のFactorD阻害薬などを中・後期の段階で開発しており、また軽鎖（AL）アミロイドーシスに対する抗FcRn抗体、2番目の経口FactorD阻害薬、3番目の補体阻害薬などを初期の段階で開発しています。アレクシオンは、補体カスケードにおける新しい分子やターゲットの研究に重点的に取り組んでおり、血液、腎臓、神経系、代謝性疾患、および心臓病といった重点治療領域の開発にも重点をおいています。アレクシオンは世界中にオフィスを持ち、50カ国以上の患者さんに貢献しています。本プレスリリースとアレクシオンファーマ合同会社に関する詳細については、www.alexionpharma.jpをご覧ください。

《本件に関するお問い合わせ先》
アレクシオンファーマ合同会社 コミュニケーション部
TEL : 03-5795-0740 FAX : 03-5795-0765
Email : Info.Japan@alexion.com